

はばたけ

No. 23
 栃木障害者の自立を促す会
 発行責任者 中山金央
 栃木市大町1-10-10 282-0233
 発行日 1989-4-8

陳情書の

署名者 梶原 哲也

先般二月十四日、栃木市に社会福祉法人の施設を作るための助成をお願いする陳情書を三千名を超える三千四十五名の署名者を持って、栃木市長並びに栃木市議会に提出しました。そして、十万円を超える募金を寄せいただきました。(これは、署名活動の経費と自立の会の活動費として運用させていただきます。)会員の皆さま、そして趣旨に賛同され街中を飛びまわって下さった方、大変ご苦勞様でした。そしてありがとうございます。ひとつ残念なことは、陳情書を提出後に三四六名の署名簿が多くなる方々から

届けられました。が、栃木市に提出できなかったことです。

昨年初冬から始まった署名活動は、市内外に拡がり小山市や宇都宮市、近隣市町村そして他県からの署名もありました。これは、栃木市に身近な社会福祉法人の施設がないという条件下で、「障害者も栃木市で安心して自立できるように」という共感の表れだと思います。

栃木市でも障害者に対する施策が着々と進められているようですが、地域に根ざした、市民と共存できる施設をめざして頑張りたいと思います。今後ともよろしくお願いいたします。



これから

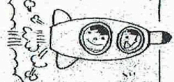
「完全参加と平等」を掲げ、障害者問題を広く全世界の人民の共通の課題としてその解決のための最大限の施策の実施を各国に呼びかけた国際障害者年も十年が経ちました。この十年の間に障害者対策はどう変わってきたのでしょうか。皆様それぞれにその事は感じていると思います。

私は昨年十二月から貴会に入会を認められた佐藤と申します。栃木市片柳町在住であり、勤め先は埼玉県富士見市にある精神薄弱者授産施設(通所)

人間東部むさしの作業所内指導員です。ここが公立民営の福祉法人格の施設で指原區及び二市二町の補助金で運営をされておられ、公的責任としての福祉施策を遂行、公主道です。さて、私は施設の指導員を職業として二十二年が経ちました。学生時代にははじきびわこ学園園長赤原先生の書物を読み感動をしこの道に入ったといっても過言ではありません。私は当時、コロニーを目ざし、「施設を地域社会から離れた場所に作り出すのではなくその施設の中で営まれているという方向」障害者が一生そこで生活できるようにな村をつくらうと理想に燃え働きました。しかし国庫年を奨励に障害者福祉の流れはそれまでの階層主義から「開かれた施設」として変わってきたのです。(この時から今の施設に私も変わりました。人・マライゼイション)恩恵も同時に広まり、私にとってもそれは大きなショックでした。どう考えてみれば障害者であろうとなかろうと一人の人としてあたりまえの、普通の

生活をすることは誰が考えてもあたりまえなのです。福祉とは「すべての人が安心して、人として、生活をすること」ができることに集約されているのではないのでしょうか。

そして今や施設福祉から地域福祉へと変化しています。障害者が自分の生まれた地域で育ち、生活をし、働くという普通の生活があたりまえであるからです。そのためにはその人にとって多くの選択が必要であり、そこから選ぶ必要に応じて援助を受け生活していくのです。どんな重い障害の人でもその人にとっての「自立」があります。その「自立」を保障できるような地域をつくる必要があるのではないのでしょうか。施設も必要です。働く場も必要です。生活をする場も必要です。いろいろ必要なものがたくさんあつてその中から選べるのが一番必要なことだと思います。



ご協力
 ありのとう
 ございませす
 (順不同)

- 岸洋子様、中山けいこ様、石塚様、萩原様、島田信子様、物木コノア様、メンター・菊野房太郎様、若田忠合、他已代表者会様、大町自治会様、柳橋町日比谷会様、サンゴ・ボラス日、北橋、高野留保、原野原母会様、栃木産産者会様、佐見町園芸会園様、こぼし作業所、物木めぐみ作業所様、物木甲身体障者者福会様、千代子、アール、すまの会様、瓜塚一祥様

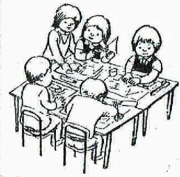
伊川 全興

養護学校義務化は今まで登校しなくて
も果たせなかった子どもと、それ以上に
学校などで勉強するなんて無理と思われ
ていた子どもたちをも憲法に保障された
とおり、当然の権利として教育を受ける
ことができるようになりました。私は、こ
のようになるまでには多くの障害者の機
性とその親たちの並々ならぬ努力と苦し
みを肌で感じるようになりました。また、
諸先輩のことを思う度に頭が下がります。
そう思うと、ただ学校に登校していれば
良いと言った考え方が、最近私の中から
消えようとしています。親の子どもに託
す夢はいつの世でも同じです。しかし、
重度の障害を持つ子どもは別なのではし
うか? 何もできない... 何もできない...
客観を持って親の背にある言葉です。で
も、親の考え方を変えただけで子どもも
変化に気づく時があります。先日末娘が

自家中で朝から病院で点滴を受けてい
たとき、未夫は、「お父さん、お母さん運
いねえ! 今までこんなことはなかったの
ですが、妹を思う気持ちが出てきている
ことがすばらしく思えました。
それと同じことが和江ちゃんもおき
ていることに気がつきました。(ほかの
人は、前から気がついていたのですが)
和江ちゃんの見方については、ずいぶん
谷田さんと討論したのですが、事務所開
設のとき私は、「和江ちゃんの仕事といっ
つても介助する機会が多いのだから無理だ
よ」といつて谷田さんにはがれました
しかし、その後事務所に通う彼女の姿と
積極的に仕事に取り組もうとする姿を目
で見、肌で感じたとき私たちの働きかけ
の仕方でも変化するとよくいわれ
ていましたがその現実を見て驚きで一
杯でした。併せてクリスマスパティデー
のピートにつた音楽やダンスに接した
彼女の眼、姿を見たときの気は、私
自身の生き方にも大きく開かれています
ように思えてなりません。和江ち

やんには何もでさないと思っていた気が
持ていなかった私にとつては大きな意味を
持てたことであり、今後の生きる基準
ができたおもいです。遅々たる発達も、
能動的な働きかけと、そうしようとする
力が加速度的に発達を促すようです。こ
の一年は、周りの人々の見方を働く(思
つていきます。

今年もおいしい大玉お餅が
いもが食べられるよ!!
収穫は6月下旬から7月
はじめ頃です。

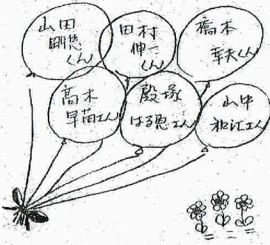


わ5回総会
4月28日(日)
AM10:00~
大明公民館

多くの方々の出席を
お待ちしております。

大きくなあれ

卒業おめでとうパーティ
開かれる。(4/3)



じゃがいも植え (3/21)
今年もおいしい大玉お餅が
いもが食べられるよ!!
収穫は6月下旬から7月
はじめ頃です。

カレンダー販売
目標突破!!

吉田 正子

ご報告が大変遅くなりましたがま
ず、1000本のカレンダーを売り
上げたことを報告し、お買上げた方
だいたの方々、販売してくださった方
々に心から厚くお礼申し上げます。
社会福祉法人を取得するための資
金作りの一貫として取り組んだカレ

ンダーの販売は、栃木クラブ、大明
自治会、脚橋自治会、サンコーボラ
ス自治会、保育所の方々をはじめ、
たくさんの方々のご協力をいただき
目標の1000本を達成することが
できました。
また、共作運ぶきんも1400枚
とたくさんお買上げいただきました。
本当にありがとうございました。
社会福祉法人を取るための道程は
いたします。

まだまだ遠いですが、一日も早い法
人認可をめざして運動を続けてまい
りますのでこれからもご援助と協
力をいただきますようよろしくお願い
申し上げます。

高、共作運ぶきんにつきましては
お買上げた方々からのご希望
があり、今後継続的に販売をしてい
くことになりました。併せてお願い
いたします。